

《 ど〜なっつ 》 職員 における 自己 評価 結果 (公表)

2020年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	1	・時間をずらして、個別課題に取り組んだり、職員用事務室もお子様クールダウンできる場として使用しています。	・室内のくぼみを利用したり、段ボールやシーツを使って落ち着けるスペースを作るなど、限られた室内を有効活用していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	0	・職員の配置数は満たしています。そのほかに、内容によって適切にお子様の支援ができるよう、療育する加配職員を配置しています。	・必要に応じて補助職員を配置していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	1	・現在バリアフリー化が必要な方は在籍されていません。	・今後必要性が生じた場合には、その都度対応していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	・PDCAサイクルに全ての職員が参画しています。	・PDCAサイクルに参画しているという自覚を全職員が持てるよう周知していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	・保護者様に向けたアンケートを実施し結果を共有して業務改善に努めています。	・保護者様のアンケートを基にして業務改善を行っているということ職員に周知していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	・自己評価の結果をホームページに公開しています。	・全職員が、結果をホームページで確認したうえで業務にあたるよう周知していきます。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	0	・今年度はコロナウィルスの影響もあり、例年よりは機会が少なくなりました。	・リモートでの研修などを設定し、機会を多く持てるようにしていきます。
	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0		
適切な 支援の 提供	⑨	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0		
	⑩	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	・季節の行事などを取り入れ、活動に変化をつけるよう心がけています。	・今後も様々な活動を取り入れ、お子様も保護者様も楽しみにできるような療育を目指します。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	0	・一日を通して活動を楽しめるよう動的な活動と静的な活動をバランス良く提供できるよう配慮しています。	・今後も継続して活動に変化を持たせながら、積み重ねていけるよう配慮した支援を行っていきます。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0		
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0		

適切な支援の提供	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0		
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0		
	⑯	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	0		
	⑰	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	0	0		
	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0		
	⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	0		
関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	0	・保護者様を通じてアレルギーや発作時の対応などについて情報を得ています。	・今後も保護者様を通じて情報を得、それを全職員が把握できるようにしていきます。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	0	・どーなつつを利用される前に必ず引継ぎを行っています。	・引継ぎを行っているということを全職員が自覚できるよう配慮します。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	0	・どーなつつの利用を終了される際にはすべて引き継ぎを行っています。	・引継ぎを行っているということを全職員が自覚できるよう配慮します。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0	・児童発達支援センターと連携し、助言や研修を受けています。	・今後も助言や研修を参考にし、療育に生かしていきます。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	4	1	・今年度は積極的な参加はできませんでした。	・今後は積極的に参加できるよう、職員の勤務内容に配慮したり、参加を促す声掛けをしていきます。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	・送迎の際にお子様のどーなつつでの様子を伝えたり、家庭での様子を保護者様から聞き取り、共通理解を図っています。	・今後も継続して保護者様とのコミュニケーションを積み重ねていきます。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	0	・随時保護者様の相談を受け、お子様との接し方についてアドバイスしています。	・職員のペアレントトレーニングについての知識をさらに深めていけるよう、研修会や勉強会の機会を設けていきます。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0		
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0		

保護者への説明責任等	②⑨	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	0	・親子で参加する行事を通して保護者様同士が交流を持てるよう配慮しています。	・今年度は親子で参加する行事が少なく、保護者様同士の交流の機会も少なくなりました。大人数が集まることで差し支えなくなりましたら、そういった機会を設けていきたいと考えています。
	③⑩	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0		
	③⑪	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0		
	③⑫	個人情報に十分注意しているか	5	0	0		
	③⑬	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0		
非常時等の対応	③⑭	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	0	・今年度は地域の施設などを訪問して交流することはできませんでしたが、前年度訪問した施設にお子様たちの作品とともにお手紙を送付し、地域とのつながりを絶やさないようにしています。	・状況が許すようになりましたら、また地域の施設などを訪問する機会を設けていきたいと考えています。
	③⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0		
	③⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0	・年に2回火災や地震を想定した避難訓練を行っています。	・今後も継続して定期的な避難訓練を行っていきます。
	③⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	・虐待防止の研修会を行っています。	・今後も虐待防止の研修会を行います。
	③⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0		
	③⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	0	・保護者様を通じてアレルギーの対応について情報を得ています。	・今後も保護者様を通じて情報を得、それを全職員が把握できるようにしていきます。
④⑩	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0	・ヒヤリハットの事例を作成し、随時閲覧できるようにしています。	・事例集について周知し全職員の閲覧を促します。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。